

勝手口ドア

商品特定時の現場撮影・採寸のポイント

商品特定の際に重要な写真撮影や採寸のポイントです。これらのポイントを確認すると、商品が特定しやすくなります。
 ※新日軽の商品については、箱錠の刻印だけでなく錠部品、ドア本体のデザインが分かる写真も一緒に撮影願います。

1：ラベル		2：商品全体					
商品ラベルの貼付位置 防火ラベルのあり・なしを確認 例)		商品全体の写真 ドア厚は『吊元側』で測定					
撮影	ラベルの表示内容 (商品名・商品コード)を読みとれるように撮影	撮影	本体デザイン・色・吊元がわかるように外観・内観両方を撮影				
記入	防火ラベル	あり・なし	寸法	高さ: Dh	mm	ドア厚: D	mm
	施工年月	年 月		幅: Dw	mm	材質	アルミ・鋼板
3：箱錠の刻印とデザイン		4：シリンダー・サムターン		5：ドアクローザ			
刻印 箱錠(上) 箱錠(中) 箱錠(下) 戸先側金物部分のアップ写真の例 【注意】商品によっては上と中の箱錠が一体型になっているものもございます。		シリンダー部 キー形状 標準サムターン セキュリティサムターン		内付用			
撮影	箱錠 (上・中・下) が写るよう にやや斜めから撮影	撮影	シリンダーやサムターンの種類が特定できるよう拡大して撮影。 ※特にキー形状はシリンダーの種類を特定する際に重要になります。				
記入	刻印の内容を記入	撮影	撮影				
	上		商品によってドアクローザは、内付と外付けの2種類ありますので撮影の際はその辺がわかるように撮影願います。				
	中						
	下						

※シリンダーの特定をしたい場合 ⇒

[『部品特定モバイルツール：スグシリ』](#)へ